

学校経営理念

【めざす学校像】

- 小規模校の強みを生かし、児童一人一人に目標と自信をもたせ、「なりたい自分」に向けて「自分育て」をすることができる学校
- 地域と繋がり、頼られ、安心して任される学校

【めざす児童像】

- 「いいちえ」を求め、「いいあせ」を流し、「いいところ」を磨く、自律の力をつけようとする児童

【めざす教職員像】

- 「教育のプロ」として児童の知・徳・体を育む使命感に燃え、児童の向上的変容や成長について語る教職員
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け学び続け、組織の一員として協働し、職務を遂行する教職員

学校教育目標

夢と志をもち「自分育て」をする子どもの育成

－かかわりあいながら「いいちえ」「いいあせ」「いいところ」で自分を伸ばす子ども－

【めざす児童の学びの姿～本校児童に育成する「資質・能力」】

- 「いいちえ」を求める子 学び方を身に付け、自分の目標をもち、学び続ける子ども 「思考力・判断力・表現力」
- 「いいあせ」を流す子 かかわりあいながら、自分のため、人のために体を動かす子 「協働性」
- 「いいところ」を磨く子 学びを振り返り、自分の課題がわかり、次へ生かそうと工夫する子 「自律性」「自己理解」
根気よくあきらめず 素直にやりきる子 自他のよさに気付き 受け入れようとする子

【研究主題】

分かる楽しさ、できる喜びを実感し、学び方を身につけた児童の育成
～「振り返りによる学びの積み重ねの活用」と「協働的な学習の充実」を通して～

【確かな学力の向上】

- 児童が「わかる・できた・楽しい」と感じる授業への工夫改善、
・学び方のシステム化、学習の見通しのある授業
・「できたこと」「できなかったこと」がわかり、「次はどうしたらよいか」
を振り返る「振り返りの視点」を明らかにした授業
・学び方技能の習得による自律した学び
・アウトプット場面、自己決定場面がある日々の授業
・「個別最適化な学び」の遂行による、質の高い家庭学習の充実
・帯タイム(いいちえタイム)での一斉テスト(漢字と言葉、計算等)
と家庭学習との連携、PDCA サイクル化
・教科書、市販ドリルの徹底活用
- メリハリのある、「指導と評価」に基づいた単元計画作成
- 聞き手を意識して話す、対話する、議論する、表現する場の
設定(学級、発表朝会)
- 合理的配慮のある個への対応 その子のよさを生かし、伸ばす
教師の支援
- ICTを活用した授業、指導・支援の工夫

【豊かな心の育成】

- 人の思いや考えを大切にす児童の育成
・相手を大切にす言葉や行動、態度への積極的な評価
- 特別活動の充実
・発達段階に応じた学級話し合い活動、児童会、集会、委員会
活動の充実
・異学年交流
・「ほかほかメッセージ」
・当事者意識をもたせた生活目標の設定
- マナーをわきまえ、ルールを守る児童の育成
・東広島スタンダード、無言移動・集合

【健やかな体の育成】

- 運動に親しみ、体力の向上に取り組む児童の育成
- 基本的な生活習慣を身につけた児童の育成
・健康や安全についての指導の工夫(「メディアとの付き合い方」)

学校
生活習慣の基盤・心の居場所

地域
人・自然・文化・つながる場

学校運営協議会
コミュニティ・スクール

家庭
生活習慣の基盤・心の居場所